

# 上部消化管X線検査の所見



上部消化管X線検査は、バリウムを飲みX線撮影することで食道・胃・十二指腸の全体を写し出します。臓器の形の変化や異常（がんや潰瘍など）がわかります。

## 五十音順

### 【あ行】

いしよせいねんまく  
異所性胃粘膜

先天性の病変で、食道や十二指腸粘膜の一部に胃の粘膜がみられる状態です。

いねんまくと  
胃粘膜と  
ヘリコバクターピロリ菌<sup>きん</sup>  
感染<sup>かんせん</sup>の関係について

幼少期のヘリコバクターピロリ菌感染により、慢性萎縮性胃炎となり胃がんや潰瘍の母地となることがわかりました。つまりピロリ菌に感染したことのない「未感染胃粘膜」は胃がんの発生リスクが低く、ヘリコバクターピロリ感染胃炎（現感染・既感染）は胃がん発生リスクがあります。こうした胃粘膜の状態は、胃部レントゲン検査からもわかるので、ご自分の胃粘膜の状態を知ってもらう目的もあり、2020年度から胃部背景胃粘膜（胃粘膜とヘリコバクターピロリ菌の関係について）についても報告しています。

### 【か行】

かいう  
潰瘍

びらんよりも欠損が深くなった状態です。重篤な合併症に出血、穿孔等があります。治療が必要なため、消化器専門医の医療機関を受診してください。

かいうはんこん  
潰瘍瘢痕

胃や十二指腸潰瘍が治り、粘膜が修復されたときにできた痕をいいます。

がん  
癌

粘膜層に発生した悪性の腫瘍です。粘膜から徐々に深部に向けて浸潤していきます。治療が必要なため、消化器専門医の医療機関を受診してください。

ぎやくりゅうせいしよくどうえん  
逆流性食道炎

日常的におきている胃内容物（多くは胃酸）の逆流により、食道胃接合部～食道下部にびらんなどの粘膜傷害が認められた状態をいいます。加齢とともに発生し易くなります。

けいしつ  
憩室  
（食道・胃・十二指腸）

消化管壁の一部が外方へ袋状に突出した状態をいいます。

### 【さ行】

しよくどうにゅうとうしゅ  
食道乳頭腫

食道粘膜が増殖・隆起してできたポリープで、良性腫瘍です。

しよくどうれっこう  
食道裂孔ヘルニア

食道と胃の境界である食道胃接合部が上にずれて、横隔膜の食道裂孔という穴より上に胃の一部がある状態をいいます。原因としては加齢や肥満、脊椎弯曲などがあります。

せんしゅ  
腺腫

粘膜層から発生した良性の腫瘍です。

### 【た・な行】

とうりょうぞう  
透亮像

粘膜に突出したもの（出っ張ったもの）がある場合にバリウムがはじかれて黒く写る状態や、境界線とともに描出される所見です。大きさや形状に応じて経過観察あるいは精密検査が必要な場合もあります。

にじゅうりんかく  
二重輪郭

辺縁が二重に写る所見です。病変の有無、良性・悪性の区別など、さらに詳しい判別をするための精密検査が必要です。

ニツシェ

表面粘膜に陥凹性病変（かんおうせいびょうへん：表面が凹んだ性状の病変）による粘膜の欠損（粘膜が潰瘍等で削られる）があると、そこにバリウムが溜まってみられる所見です。良性・悪性の判別をするための精密検査が必要となります。

ねんまくかびょうへん  
粘膜下病変

粘膜の下から発生したこぶ状のものが、粘膜表面側に突出した状態をいいます。

ねんまくふせい  
粘膜不整

粘膜が凹凸している状態です。粘膜の炎症・萎縮・病変があった場合でみられる所見です。病変の有無、良性・悪性の区別など、さらに詳しい判別をするための精密検査が必要です。

【は行】

|                         |                                                                                |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| バリウム斑 <sup>はん</sup>     | 胃の粘膜の凹んでいる部分にバリウムが溜まってみられる所見です。病変の有無、良性・悪性の区別など、さらに詳しい判別をするための精密検査が必要です。       |
| バレット食道 <sup>しょくどう</sup> | 下部食道の粘膜が胃粘膜に置き換わった状態です。胃液が食道に逆流することが主な原因とされています。                               |
| ひだ集 <sup>しゅうちゅう</sup> 中 | 粘膜に潰瘍性病変があるか、治った後に粘膜ひだがり寄り集まってみられる所見です。形状に応じて経過観察あるいは精密検査が必要な場合もあります。          |
| びらん                     | 様々な原因により粘膜に炎症や欠損がおこった状態です。大半は心配のない所見です。                                        |
| へんえんふせい<br>辺縁不整         | 辺縁に凹凸がみられる所見です。病変の有無、良性・悪性の区別など、さらに詳しい判別をするための精密検査が必要です。                       |
| へんけい<br>変形              | 胃や十二指腸は、だいたい決まった形や大きさをしています。形が変形しているときにみられる所見です。形状に応じて経過観察あるいは精密検査が必要な場合もあります。 |
| ポリープ                    | 粘膜が盛り上がったもの全ての総称です。正常粘膜からのものと、炎症によるものがあります。大きさや形状に応じて経過観察あるいは精密検査が必要な場合もあります。  |